県遺族通信

発行：一般財団法人
岡山県遺族連盟
（086）271-7175
令和６年４月20日
No.６

令和６年度事業計画決定
～平和の語り部事業取組など～

県連盟では、3月15日(金)に理事会、同じく26日（火）に評議員会を開催し、新年度の事業計画案及び予算案を審議・決定しました。事業計画の概要は次のとおりです。

【事業計画の概要】

１　英霊顕彰運動の推進

（1）総理・閣僚等の靖國神社参拝の継続・定着運動の推進

（2）知事等、各界代表の岡山県護國神社参拝における慰霊祭等の実施

（3）市町村に戦没者追悼施設並びに国立の建設構想の阻止

（4）岡山県護國神社並びに忠魂碑等の護持の実施

（5）その他

①靖國神社、県護國神社の慰霊行事等への奉賛協力

②市、町、村、地区等の慰霊行事等への奉賛協力

③旧陸軍墓地慰霊行事に対する奉賛協力

④全国戦没者追悼式への遺族代表の派遣

⑤戦没者遺族慰霊研修事業の実施

⑥「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝事業の実施

⑦沖縄平和祈願慰霊大行進への参加者派遣及び参加促進

⑧慰霊友好親善事業及び遺骨帰還事業、政府及び日本遺族会主催の戦跡慰霊巡拝事業への参加者派遣及び参加促進

２　処遇改善運動の推進

（1）公務扶助料等の改善及び全国戦没者追悼式への参列者拡大の要請

（2）特別弔慰金の継続に向けた要望活動の展開

（3）諸法規改正事項の普及指導

３　組織の充実強化

（1）組織の充実強化

①孫や曾孫等の入会を推進し県単位の青年部の拡大強化を推進

②後継者育成研修会・勉強会などを開催

③孫・曾孫等を含めた合同研修会や女性部研修会を実施

④各遺族会の研修会等への孫、曾孫等の参加と意識醸成

⑤「県遺族通信」の年２回発行、ホームページによる情報発信、日本遺族会発行の「日本遺族通信」の購読推奨

（2）平和の語り部活動への取組

①戦争の悲惨さを体験した遺族が、青年部と一体となり、その記憶を伝承していく中で、遺族会活動を次世代に継承。

②語り部事業の周知を図るとともに、平和の語り部の発掘・育成や平和祈念館での語り部活動等を行っていく。

③各遺族会における「語り部の会」の企画・実施

（3）財源の確保

①公益目的支出計画の実施期間等を見据えた会の運営

②県連盟及び各遺族会とも、各自治体への財政支援の要請

（4）高齢者の福祉充実に関する事業

①百歳長寿の祝いと一人暮らしの妻への慰問

②各遺族会における一人暮らし遺族に対するボランティア活動

③遺族からの相談対応

４　岡山平和祈念館の運営

（1）岡山平和祈念館は、戦争と平和を考える施設であることから、広く学校関係者や県下各界各層に対する広報活動を実施

（2）遺影（写真）及び遺品の受付・展示

県遺族代表者大会開催

11月25日（土）に岡山市立市民文化ホールで、岡山県戦没者遺族代表者大会を開催。今回はコロナ禍前と同様の六百三十人の遺族代表が参加して、総理等の靖國神社参拝の定着や令和６年度政府予算案の概算要求に計上された遺族処遇改善項目の完全実現などを議決した。

中国・四国ブロック会議
～岡山市で開催～

日本遺族会中国・四国ブロック会議を、10月17日（火）、18日（水）の両日、岡山市のピュアリティまきびにおいて開催しました。

コロナ禍も落ち着き、4年ぶりの通常開催。来賓の上坊勝則岡山県副知事や江本公一県議会副議長をはじめ、日本遺族会の水落敏栄会長、各県の会長、遺児代表、女性部長、青年部長など46名の参加となりました。

会議は地元岡山県遺族連盟の大月理事長の挨拶ではじまり、議題としては日本遺族会の「組織継承3年計画」について、同会の細貝洋子広報担当課長から説明、続いて徳島県の濵女性部長から同計画の柱である「平和の語り部」の事例発表があり、その後討議が行われました。

次に、各県から提出のあった「今後の遺族会の運営」や「平和の語り部事業」、「忠魂碑の管理」などについて、活発な意見交換がありました。

翌日は、岡山縣護國神社の正式参拝、続いて岡山平和祈念館を見学していただき、散会となりました。

第78回全国戦没者遺族大会に参加

令和5年12月14日(木)、東京の自由民主党会館で、全国の戦没者遺族代表346名が参集して、第78回全国戦没者遺族大会が開催され、令和6年度政府予算に要望事項が完全実現するよう決議がなされました。県連盟からは、大月理事長をはじめ7名の役員を派遣いたしました。

本県参加者は、地元選出自民党国会議員に対し、同大会の決議事項が実現するよう、要望活動を行いました

活動の結果、最重点要望事項でありました「平和の語り部事業」が新規に予算化されるなど、概ね要望にそった結果となりました。

「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝事業の実施

県連盟では、岡山県の補助により沖縄地域戦跡慰霊巡拝を67人の参加を得て、11月8日（水）から10日(金)の2泊3日の日程で実施しました。

2日目の11月9日(木)には、午前11時から糸満市摩文仁の丘に建立された「岡山の塔」で、来賓として木村俊之岡山県知事代理、小倉弘行岡山県議会議長をはじめ、沖縄県からは県知事代理、照屋守之県議会副議長、糸満市長代理、我部聖寿沖縄県遺族連合会会長らのご出席をいただき、「岡山の塔」沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式を執り行いました。

式では、大月健一県連盟理事長が式辞を延べ、続いて岡山県知事や県議会議長が追悼の辞を述べ、その後参列者全員で献花を行い、戦没者のご冥福をお祈りしました。

女性部・青年部研修会の開催
～「平和の語り部」学ぶ～

岡山県遺族連盟では、1月23日(火)に岡山市内で、女性部員や青年部員など37名の参加を得て、「令和5年度岡山県遺族連盟女性部・青年部研修会」を開催しました。

研修会は、大月理事長の「今回は、女性部と青年部の合同での研修会ですので、両部の交流が深まることを願っております。」との挨拶で始まり、波多女性部長、江本青年部長の挨拶と続きました。

研修では、日本遺族会の細貝洋子広報担当課長にお越しいただき、「戦後80年に向けた組織継承3カ年計画」とその柱である「平和の語り部事業」について、熱心かつ具体的に説明をしていただき、参加者の理解を深めることができました。

お慶び
～厚生労働大臣表彰～

令和５年度の援護事業の功労者として、岡山県遺族連盟から、次の４名の方が、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

■三宅禎浩（岡山県遺族連盟副理事長）
■山下桂正（同副理事長）
■岡本　忠（同理事）
■井上晴夫（同理事）

受賞された皆様は、多年にわたって、県連盟、各遺族連合会の役員として、組織の充実・発展を図るとともに、遺族の福祉向上に貢献され、援護事業の功績が特に顕著であると認められたものです。心から、お礼とお慶びを申し上げます

老人福祉事業・百歳長寿の祝い

本年は県下５遺族連合会５名のご遺族がめでたく百歳（本年は大正12年生まれ）の長寿を達成され、地元遺族連合会を通じておよろこび状と記念品を贈り慶祝の意を表しました。

また、戦没者の一人暮らし妻の皆様（10名）には、慰問文と記念品をお贈りし、お慰めしました。

本年めでたく百歳の長寿を達成されたご遺族の皆様は次のとおりです。

■栗元　清子（妻）：岡山市中区藤原西町
■松下　重子（妻）：岡山市東区瀬戸町大内
■江本　静子（妻）：津山市神戸
■野川　守（弟）：真庭市蒜山下長田
■秋山きぬゑ（妻）：勝田郡勝央町黒坂

戦没者遺児による慰霊友好親善事業のご案内

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて、戦没者遺児に対する慰藉の一環として、一度は亡き父等の眠る地に赴き慰霊追悼を行うとともに、現地の方々との友好親善を深めることを目的とした「慰霊友好親善事業」を行っています。なお、この事業は、令和７年度をもって終了することとなっています。

■参加資格：戦没者の遺児
ただし、下段の実施予定地域以外の方は参加できません。

■参加費：10万円

■付添者：戦没者の孫、ひ孫、甥、姪が遺児に同行する場合は、旧戦域での旅行費用（実費）に対する３分の１補助が国より受けられます。

■日程等の詳細やお申込みについては、県連盟事務局（TEL：086-271-7175）まで。

■実施予定地域

実施地域	実施時期	募集人員	実施地域	実施時期	募集人員	実施地域	実施時期	募集人員
旧ソ連	８月上旬	40人	東部ニューギニア	10月中旬	42人	西部ニューギニア（特定地域）	２月上旬	36人
旧満州	８月下旬	40人	ビスマーク諸島	10月中旬	40人	東部ニューギニア（特定地域）	２月中旬	36人
ボルネオ・マレー半島	８月下旬	40人	インド	11月上旬	30人	ミャンマー(特定地域)	２月下旬	36人
トラック諸島	９月上旬	20人	フィリピン（1次）	11月上旬	120人	マーシャル・ギルバート諸島	３月上旬	40人
パラオ諸島	９月上旬	20人	ソロモン諸島	11月下旬	40人	フィリピン（２次）	３月中旬	120人
西部ニューギニア	９月中旬	40人	台湾・バシー海峡	１月中旬	40人	中国	３月下旬	80人
マリアナ諸島	10月上旬	40人						

※旧ソ連、旧満州、ミャンマー、中国地域は、実施困難な状況にあることをご承知おき願います。

令和６年度 慰霊巡拝（政府主催）のご案内

令和６年度の厚生労働省主催の遺族代表による慰霊巡拝については、次のとおり実施される予定です。

■実施予定地域
カザフスタン共和国、中国東北地方（旧満州地区全域）、インドネシア、東部ニューギニア、イルクーツク州・ブリヤート共和国、ハバロフスク地方・ユダヤ自治州、北ボルネオ、ビスマーク諸島、インド、フィリピン（第１次、第２次）、硫黄島（第１次、第２次）、マーシャル諸島、ミャンマー

■参加資格
岡山県にお住まいで、慰霊巡拝を行う戦域における戦没者の配偶者（再婚した者を除く。）、父母、子、兄弟姉妹、参加遺族（子・兄弟姉妹）の配偶者、戦没者の孫、戦没者の甥・姪であること。ただし慰霊巡拝に参加したことのない方が優先されます。

■問合先・申込先
日程や参加費用など詳細は、岡山県庁子ども福祉課援護班（TEL：086-226-7320）にお問合せ下さい。

平和祈願慰霊大行進の参加者募集中

日本遺族会では、毎年6月23日に沖縄県遺族連合会と共催で実施している「沖縄平和祈願慰霊大行進」の参加者を募集しています。

■期間　6月22日（土）～24日（月）2泊3日
■宿泊　那覇市内のホテル
■申込締切　4月26日（金）
■参加費用など詳しくは、県連盟事務局（TEL：086-271-7175）まで

戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定申請のご案内

厚生労働省では、DNA鑑定により戦没者のご遺骨の身元を特定してご遺族へ返還する事業を行っています。

このうち遺留品等の手掛かり資料のないご遺骨についても、令和3年10月1日からは、鑑定対象地域を拡大して申請を受け付けています。（戦没地が分からない場合も申請できます。）

■対象地域
硫黄島、インド、インドネシア、沖縄、樺太、旧ソ連等（旧ソ連、モンゴル）、タイ、中部太平洋地域（ウエーク島、ギルバート諸島、ツバル、トラック諸島、パラオ諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、メレヨン島）、東部ニューギニア、ノモンハン、ビスマーク・ソロモン諸島、フィリピン、ミャンマー

■申請できる方、申請方法、費用など、詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧いただくか、同省社会・援護局事業課戦没者遺骨鑑定推進室（直通電話：03-3595-2219）へお問い合わせ下さい。

兄の遺品を平和祈念館に～岡山市北連合会の妹～

岡山市北遺族連合会の伊賀節子（95歳）さんは、先の大戦に出征した兄の遺品の木箱を開けることなく大切に保管していました。

高齢となり、自分にもし何かあればこの木箱はどうなるのだろうかと気になり、地元遺族会の人に手伝ってもらい、木箱を開けました。中には、ノートや手帳などに加え、出征する前夜に書いた書が3枚入っていました。「元気でやります　達者でやれよ」などと書かれ、家族を思う気持ちが表れています。

このことは、昨年8月NHK岡山放送局に取り上げられご存知の方もおられるかと思いますが、岡山平和祈念館にこの書を寄贈していただき、展示しておりますので、ご来館の際にはぜひご覧いただければと思います。

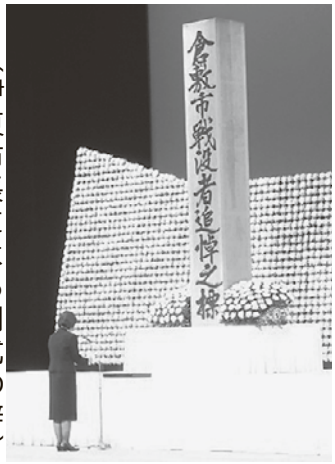
（平和祈念館での展示状況）

倉敷市戦没者追悼式

令和5年10月13日(金)に倉敷市市民会館において、遺族ら四百十名が参列し、令和5年度倉敷市戦没者追悼式が開催されました。

午前10時に開式、国歌斉唱に続き英霊に黙祷、伊東香織市長が式辞を述べられた。続いて、大月健一岡山県遺族連盟理事長をはじめ来賓の追悼の辞があり、遺族代表として同市遺族連合協議会の井上晴夫会長が、恒久平和実現のため力を尽くす旨を誓った。

その後、参列者代表らが献花を行い、戦没者のご冥福をお祈りしました。



（伊東市長による開式の辞）

遺族会の動き

【令和6年5月】
5日　県戦没者春季慰霊祭（県護國神社）
6日　県護國神社春季慰霊大祭（県護國神社）
28～29日　合同研修会（山口方面）

【令和6年6月】
22～24日　沖縄平和祈願慰霊大行進

【令和6年7月】
16～17日　県連盟慰霊研修（靖國神社・新九段会館）

【令和6年8月】
15日　全国戦没者追悼式（日本武道館）

【編集後記】
日本遺族会の「平和の語り部事業」に国の予算が付き、全国の遺族会で取組むこととなっています。今後、皆様方に本県の方針等について、機会を捉えてお示しをしたいと考えておりますので、ご支援、ご協力方よろしくお願いします。（増本）